

西浦レストハウスの活用方法の検討に向けたサウンディング型市場調査 結果概要報告書

1 サウンディング型市場調査実施の経緯

西浦レストハウス（蒲郡市西浦町大山25番地）は、昭和41年12月に設置され、現在は観光客の休憩所及び公衆トイレとして利用されています。設置から50年以上が経過し、施設の老朽化も進んでいることから、建て替え等を含めた今後の活用方法を検討しています。

本調査は、民間事業者等との「対話」を通じて、土地及び建物を有効活用する方法の検討につなげることを目的としました。結果をとりまとめましたので、その概要を公表します。

2 サウンディング型市場調査の実施スケジュール

令和2年5月7日	サウンディング型市場調査実施要領の公表
令和2年6月2日	現地見学会の開催
令和2年6月15日～6月19日	サウンディング型市場調査の実施
令和2年8月31日	サウンディング型市場調査結果概要の公表

3 サウンディング型市場調査の参加者

サウンディング型市場調査参加者：2団体

※うち、現地見学会参加者は1団体

4 意見・提案の概要

≪ A 団体 ≫

(1) 基本的な考え方・コンセプト
新たな事業を展開することは難しいと考える。
(2) 提案する事業
なし
(3) その他
・現場も確認したうえで提案することは、廃止に向けて動くべきであるということ。

・理由としては、現在の旅館の状況や利用者の数、ニーズ等を踏まえて、投資にふさわしい結果を得ることが難しいと考えるためである。

《 B 団体 》

(1) 基本的な考え方・コンセプト

西浦レストハウスの建物そのものの建て替えや活用方法の提案よりも、周辺環境の整備を提案する。そういった環境整備ののち、西浦レストハウスのニーズが生まれてくる可能性がある。

(2) 提案する事業

・西浦レストハウス横の海側の樹木を定期的に剪定し、展望が望めるか確認する。(西浦パームビーチが見えそう)

(3) その他

・現状は、西浦レストハウス横の海側の樹木が手入れされずに放置されている。本気でこの西浦レストハウスを活かそうと思ったら、これらの環境整備がまずは必要である。

5 サウンディング型市場調査結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディング型市場調査により、2団体から今後の活用方法や方針に関してご提案をいただきました。いただいた意見をふまえ、西浦レストハウスの今後の活用は難しいといった結論に至りました。現在、この西浦レストハウスはバスの停留所、公衆便所及び休憩所として使用されており、今後バス会社との調整が必要になります。また、この建物の天井部分は駐車場としても使用されていることから、西浦観光協会との調整も必要になります。これらの問題を解決したうえで、遅くとも建物の使用期限である令和18年までに、廃止に向けて調整を進めてまいります。